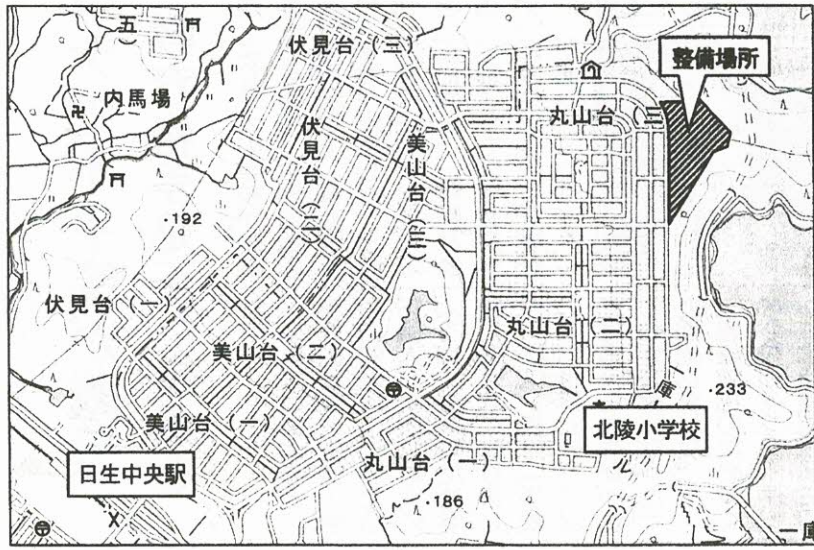


特別支援学校の丸山台新設計画 「案」の段階で説明会を希望 住民説明会で活発に質疑

学校の概要

設置場所 川西市丸山台3丁目 (敷地面積 約13,000㎡)



学校規模等
 障害種別 知的障害
 設置学部 小学部・中学部・高等部
 児童生徒数 約120人
 通学区域 川西市・猪名川町
 通学方法 スクールバス (一部は公共交通機関を利用)

県・市「不安わかった。意見踏まえ対策」

説明会「その都度」開く

変更もありという柔軟な対応が望まれます。

新しい進入路など

説明会の議事録の作成と一目でわかる分かりやすい説明会資料などの要望が出され、予定時間を超える説明会となりました。最後に、小俣千智特別支援教育課長が「多くの質問をお聴きして、住環境が変わることへの不安がわかった。通学路、雨水の面など安全面の確保は「ご意見をもとに考えていく。改めて説明会資料にスケジュールやわかりやすい資料」を提供し信頼を築いていきたい」とまとめられました。

知的障がい児を対象とした特別支援学校を新たに川西市丸山台3丁目に開設する計画について、住民説明会が7月24日、日生公民館で開かれ、2時間40分にわたって、さまざまな意見が出され、県と市の説明者から「出されたご意見をもとに考え、説明会を開く」との発言もありました。

建設予定地や日程等は表の通りですが、現段階では設計業者が決まったただけです。説明にあたった兵庫県教育委員会事務局特別支援課職員と川西市教育委員会職員は今後、造成工事や建設工事が実施される都度、住民説明会を行うとしています。

阪神北地区で整備

新設校に分散通学

3回分参照)

当初は3月7日に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止のために中止。書面による説明と質問、意見を集約してきましたが、住民の要望で今回の対面説明会となりました。

新設校は小学部、中学部、高道路の安全対策を



県と市が連携し

進めてほしいものです。

等部を設け、定員は120人を想定。こやの里特別支援学校の児童生徒のうち、川西市北部と猪名川町の生徒を新設校に振り分けず。事業費は32億円。

住宅地内での建設のため、一番の要望は「安全確保」。北陵地域は、急な坂道や歩道や横断歩道がない道路があること。通過車両が多く事故も多い、工事車両や通学バス等のルートは？車両台数は？など運行に関する質疑が相次ぎました。

良好な住環境を守るための騒音・振動防止、プライバシー保護への対策、学校建設による雨水排水や建設地のハザードマップ(土砂災害)への調査・対策をしっかりと行うよう求められたことに関しては、県と市が連携して対応するとしています。

住民と児童生徒の安全第一

その他、「北陵中学校予定地(丸山台1)に建設した方が、費用はかからない。生徒の通学にも便利。市の土地を無償貸与することへの意見、丸山台3の予定地が適当か・・・」などの

住民の意見を探り入れ

今後の検討では、行政にありがちな「決まったから」と一方的に押し付けるのではなく、「案」の段階で説明会を行い、「住民が主人公」で

児童生徒は120人だが、職員の数はいくら程度？
 ※約80人程度。障害の種別で職員数が変わる。

車両通行量多い、近隣で狩猟期間がある。安全第一で！！

駅からバス通学になる生徒のためにも、住民のためにも、しっかりと具体的な安全対策を行うべき！



スケジュール	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
基本設計	6月～基本設計～10月				
実施設計	11月～実施設計	行政手続き～6月			
造成設計・工事	7月～造成設計～12月	3月～造成工事	1月～建築工事	11月～	4月～
建設設計・工事		～12月	(R5・10月)	開校準備	開校

